

# 本部だより

●第 28 号



マーシャル方面遺族会

<http://mibfa1926.com>



携帯サイト

●環礁・本部だより第 28 号●発行日:平成 25 年 8 月 1 日●発行人:黒川誠  
●マーシャル方面遺族会本部:〒142-0051 東京都品川区平塚 3-4-17  
●電話 03-3783-8382 ●FAX03-6410-4420 ●振替番号 00100-0-93487



福島のお宅にて野田総理、福島県知事、福島市市長から百寿の表彰を受ける富田ミツさん。中央は妹のキミさん

本年は 3 月中旬より急に暖かい日が続くといい異常気象のせいかな、名物の「靖国の桜」は本会慰霊祭当日には満開を過ぎてしまいました。  
昨年は境内の開花標本木は蕾のままでありましたのに、今年は真反対の桜吹雪の中での何かしら寂しい開催となりました。  
定刻 10 時には 86 名の出席者が神官の誘導で手水を使い、修祓を受けて昇殿致しました。神官の祝詞から私の祭文奏上に始まり、佐藤勉、浜田つき子、浦手清司、渡部守、馬場清、石川正興、平田郁子さんと私による玉串奉奠、拝礼と行事はつ



平成 25 年 3 月 31 日  
慰霊祭  
桜散るも盛会裡に斎行  
黒川誠 (会長)

つがなく終了して退下しました。

気遣われていた天気も、記念撮影時には支障なく靖国会館前で無事終えることが出来ました。

## 慰霊祭出席者

敬称略

青森県 須藤明子 宮城県 安藤としえ  
 坂田とみえ 佐藤勉 福島県 富田キミ  
 鈴木ヨシエ 佐藤幸一 佐藤ハル 茨城  
 県 大串直行 栃木県 菊池彦亘 埼玉  
 県 小野博孝 小野トキ子 西勝章夫  
 藤田羊一 大井和子 小松順子 鈴木裕  
 子 眞鍋信一 眞鍋公代 小田原利子  
 小田原靖 目黒一誠 佐藤知子 高林芳  
 夫 小室貞尾 千葉県 多田和恵 多田  
 愛世 東京都 黒川誠 間々田征史 石  
 川勲 高橋愛子 内海淑子 笹幸恵 鈴  
 木千春 山田二美 番場信子 星野綾子  
 浜田つき子 浜田忠秀 浜田裕市 浜田  
 房枝 浜田真一 浜田悦子 若狭幸子  
 浜田真一 浜田悦子 若狭健一 若狭恵  
 子 若狭英子 若狭かつえ 小寺照子  
 小寺あや子 山口良一 草場寛 井上賀

雄 井上庸子 神奈川県 安威和子 服

部政久 鈴木友季子 鈴木進 糀谷友孝

中澤秀雄 佐藤隆一 佐藤章子 佐藤力

久也 新潟県 山田裕史 山田摩希子

岐阜県 吉田正明 愛知県 浜田芳枝

目黒知子 広島県 浦手清司 浦手満子

山口県 櫛崎馨 愛媛県 渡部守 渡部

信子 渡部幸典 渡部俊哉 波頭幸弘

波頭知子 馬場清 香川県 石川正興

石川妙子 松原勇彌 松原敦子 福岡県

平田郁子 石松順子 玉串奉奠者 佐藤

勉 浜田つき子 浦手清司 渡部守 馬

場清 石川正興 平田郁子

今年の慰霊祭は、ご家族での出席者が

多くありました。特筆すべきは、東京の

浜田つき子さんには15名でのご出席を戴

きました。

ご承知の通り、本会員にも高齢化の

波が押し寄せて毎年退会者が増えていま

す。そんな中、浜田つきさんがご家族

を伴って大勢で参加されておりました。

編集部ではこのようなご家族での参加が

増えることを祈って浜田さんに原稿のご

依頼を致しましたが、快くご承諾を得ま

した。3ページ下段をご覧ください。

## 総会

総会は靖国会館「偕行の間」で正午より開会致しました。司会の草場役員の発声により、山口役員の議長選出を全員一致で賛同され、式次第の通りに進行致しました。

### 式次第

開会の辞

会長挨拶

会計報告

会計監査報告(内海淑子監査役)

役員の改選と役員の選任

国内慰霊祭行事の発表

現地慰霊巡拝の説明と発表

その他

◆会計報告 受付で配布した報告書通りである旨が報告され、内海監査役からは総勘定元帳をはじめ収支資料を監査照合の結果相違ないことが報告されました。

◆会長と役員の改選 本年は任期満了によるもので3月17日の役員会での会長留任決定を報告し、賛同を求めて了承を得ました。会長留任により役員の人選は会



㊤総会スナップ ㊦直会スナップ

㊧高林幹事から現地慰霊説明 ㊨笹幸恵さんの写真説明

長より全員留任が発表されました。

◆国内慰霊行事

5月27日・厚生労働省主催「千鳥ヶ淵墓苑拜礼式」

7月15日・当会の永代神楽祭（命日祭）

8月15日・全国戦没者追悼式・東京都戦没者追悼式

10月下旬・東京都遺族連合会「沖縄戦没者慰霊祭」

◆平成24年度本会主催現地慰霊報告と平成26年度現地慰霊予定の報告が行われました。

また、昨年初参加の笹幸恵さんが撮影した写真がスクリーンに映し出され、笹さんから詳しい説明が行われました。

直会

総会の会場がそのまま直会の会場となり、配膳が調ったところで高林幹事の発声で始まりました。

現地慰霊が申請制度になって初めての慰霊巡拝の報告が参加者代表の内海さんと新規参加者よりの体験発表がなされました。今後の課題としてグアム経由、ハ

ワイ経由案もあり何れにしても旅行社と十分検討して、慰霊一辺倒の慰霊行に観光等を加えた企画が考えられます。

また、近年直会への参加者減少が目立ちますが、これもこれまでにない企画が必要になりそうです。是非、お考えをお寄せください。

家族揃っての慰霊祭参加

浜田つき子（東京都）

今年の慰霊祭の通知を戴いた直後に、私は久し振りに両親の夢を見ました。ああ、父母と思った時、私の肩にすごい暖かい温もりを感じて目が覚めました。

父は昭和19年2月6日にクエゼリン島で戦死しました。7人の子供を残して戦死した後、大変な母の苦勞を見て育ちました。その時私は上から4番目で11歳でした。

横須賀駅で7人の子供に手をつながせて兄妹弟皆こうして仲良くして行くんだよと言って、滝のように涙を流した父の顔が今でも忘れられません。父は大変子



母・若狭あさ子と私

供を大切にしていまして、また本当に子煩悩だったと母から聞かされて来ました。

慰霊祭が始まってから母の跡を継いで茨城の兄を始め姉弟皆で靖国神社で慰霊祭に集まることを楽しみにして来ました。が、その兄弟達が次々と他界して車椅子で出席していた末の弟も3年前に亡くなってしまい、私と福島に住む妹と二人になってしまいました。

今年には都内に住む甥や姪達に一人でも多く誘ってみようと思いましたが、私達も皆気持ちよく「おばあちゃん、私達も行くよ」と言ってくれました。個人で参拝していたようですが、正式に慰霊祭に出席する事が初めてだと言って喜んでくれました。

主人を始め皆で集合写真まで撮られて私の方がびっくりしました。「おばあちゃんまた来年も呼んでね」と言われて本当に嬉しいです。これで父に対して少し恩返しが出来たように思います。私も昨年11月に満80歳の誕生日を迎えました。父の倍の命を戴いて本当に有り難く思うと共に靖国神社の尊さと慰霊祭の大切さを伝えて行くのが私に残された大きな役目だと思っています。

私の家族も皆孫達迄も靖国神社を本当に大切に思っていてくれます。これからも宜しくお願い申し上げます。

この写真(上)は母が慰霊祭に来た時私と二人で撮りました。2枚目(下)は私の家族一同で、私の誕生日会79歳の時のものです。

## 浜田 誠二

私は、浜田つぎ子の長男の浜田誠二です。例年、慰霊祭には母が一人に参加しておりますが、今年はいよいよ母を中心に初めて15名の大人数で参加することができました。

妻と長女は慰霊祭に参加しましたが、



筆者(前列右)の誕生日会での家族写真

私と長男は同時刻に境内において毎年執り行われている解脱会主催の慰霊祭に役目があり参加できませんでしたが、気持ちを同じくして慰霊のご供養をさせて頂きました。

昨年、母は80歳を迎え、節目として2月6日に靖国神社に永代神楽祭の申し込みをする事ができました。今年初めてマージナル方面遺族会の慰霊祭に親戚一同が参加できましたことは、祖父の導きのおかげ様だと思います。よく母から、祖父が妻と7人の子供を残し、出征して

いくときの最後の別れの話聞いてきました。今回こうして子供と孫が揃って参加できたことを祖父が一番喜んでいるものと思います。

今日、日本の平和と幸せがあるのも、国のために尊い命を捧げてくれた英霊の皆様のおかげだと思います。これからも出来る限り、家族皆で慰霊祭にまた靖国神社に参拝させて頂きたいと思えます。

## 浜田祐市

今回初めて慰霊祭に参加させていただきました。祭祀されているのは私の母方の祖父若狭光です。母が11歳の時にクエゼリン島で戦死しました。

祖父が出征した時の話を母はよく話してくれました。横須賀の駅のホームに兄弟7人の手をつながせて「兄弟仲良く力を合わせて生きてゆくんぞ」と言い涙した顔が忘れられないそうです。

その時一番末の叔父は乳飲み子でした。私も今では人の親になり、その時の祖父の心中を察すると胸が締めつけられる思いです。

その7人兄弟も5人が他界してしま

ましたが、遠方の叔母を除く6兄弟の子や孫の総勢15名で参加する事ができました。遺言が実現の形になり、祖父もきつと喜んでいると思います。

現在日本が平和でいられるのも、人々のために命を犠牲にした上に成り立つて入る事を忘れずに、これからも靖国に参拝していきたいと思えます。その思いを家族に伝えた所、妻も大学生の息子も参加してくれた事に感謝しています。

## 平成25年度

### 遺児巡拝参加者募集

日本遺族会が厚生労働省から補助を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」では平成25年度参加者を募集しています。本事業は戦没者遺児を対象とした事業で、遺児の方であればどなたでも参加できます。

マーシャル・ギルバート諸島の募集人員は36名で、平成26年3月上旬に実施されます。参加費は9万円です。

本会会員が希望する場合は、本会本部に申し込んで戴ければ必要書類を直接申

込者に郵送する手はずを整えています。都民である場合、申請書は都より受け取ることとなります。

## 千鳥ヶ淵戦没者墓苑拝礼式

5月27日、新緑薫る中快晴に恵まれて本会に出席しました。高円宮妃殿下のご臨席のもと安倍総理（2回目）を初め例年通り各国、各来賓の献花が行われましたが、変化としては今年アメリカとロシアからの参加があったことです。（黒）

## 本会のお宝吉報

### 富田ミツさん百寿！

本年の慰霊祭で妹の富田キミさんから富田さんの百寿を伺いました。一昨年の内海静枝さんに続いているの本会が誇れる吉事ですので、写真等をお願いを致しましたところ、写真数葉と次ページのようなお手紙を頂戴しました。その達筆に感動致し、会員の皆様にご披露して私共もその長寿にあやかりたく、原寸で掲載致しました。（黒）





N 2

老令と名う 託境 滅 退 平の 舞 ね など 字も 思 う ように  
書けなく 困り ました ポケ 防止 と思 っ て 短 歌 を 習 っ た  
の ち が ち ず も 昔 ま した、これ は 最 後 の 歌 だ す

幾 年 が 死 脱 越 之 来 し 現 世 身 <sup>う せ び</sup> に 今 白 面 丈 の 命 だ ま ぬ

幾 年 の 日 二 友 読 み ち り き 遺 書 眺 め 生 き の 心 今 終 り

遺 書 かく

どう ぞ 何 時 ま ち も 消 光 氣 を マ、ン ヤ ル 会 が 長 く 続 け ら れ ま す、

よう 念 じ ら ぬ ち り ます

田 田 三 三

平成 三 十 五 年 四 月 廿 二

## ご質問にお答えします！

## ① 東地井義則さんからのご質問についての回答

慰霊巡拝はいつもクエゼリン・ルオットばかりでマロエラップ島などは何か関係ないような会ですね

お答えします。

先の大戦でマーシャル諸島・ギルバート諸島では多くの兵士が玉碎されました。

この会の歴史を紐解きますと

昭和38年に「クエゼリン島戦没者遺族会」が設立されました。

昭和40年にはルオット島・ブラウン島の遺族の加入により会名を「クエゼリン方面戦没者遺族会」と改称され、

昭和41年にはウオツゼ島・ギルバート諸島の遺族の加入により会名を「マーシャル方面遺族会」と改称されました。

昭和38年の会設立当初よりの念願だった現地慰霊碑建立をマーシャル方面の島々を代表して主碑をクエゼリン島に建

立したいとマーシャル方面遺族会が直接米軍に嘆願したところ、昭和42年に建立承認が下りました。

早速製作準備開始、都道府県知事に県の銘石を送って下さるよう要請したところ快くご承諾下さり、準備が整いました。

昭和43年慰霊碑製作開始、8月17日完成、白金迎賓館で清祓式挙行。

9月13日横浜港出港、10月29日クエゼリン到着組立作業開始。12月1日慰霊碑組立完成、除幕式が現地の有志により厳粛に挙行されました。

以上が慰霊碑建立までの経緯です。

以上の理由から本会主催で現地慰霊に行く時は、各島々を代表した主碑のあるクエゼリン島に慰霊に行っている訳です。

各々の島に慰霊希望者がありましたら、計画は立てられます。飛行機がマジユロよりチャーター便となりますので費用の面でかなり高くなると思われます。クエゼリン、ルオット島以外の島は入島の許可は要りませんので希望があれば何時でも行けます。

## ② 鈴木千春さんからのご質問についての回答

私の大叔父（第64警備隊）の戦没地、ウオツゼ島に関して情報を集めております。当会でウオツゼに慰霊巡拝に行かれたことはありますか。またその際の写真、資料などがありましたら是非HPに掲載して戴けないでしょうか。

お答えします。

ウオツゼ島訪問はありません。ウオツゼの資料は少ない中、一冊の写真集を探し出しました。それは篠崎英夫（元第531海軍航空隊主計長・海軍主計少佐）著による「鎮魂・ウオツゼ島 第531海軍航空隊戦没者の霊に捧ぐ」です。発行日は昭和62年9月1日です。写真は、戦後の慰霊祭時の撮影でオールカラーです。第531海軍航空隊の隊歴や防備図、戦没者名簿は大変貴重な一冊かと思えます。本著は鈴木さんのご質問を受けて本会HP（8月1日予定）に掲載致します。また会員の皆さんからのウオツゼ島に関する情報もお寄せ戴きたくお願い致します。



③ 吉村真澄さんからのご質問についての回答

戦没者名は久保久作（曾祖父・青森県出身）、戦没場所はウオッセと記されているだけで所属部隊名などは一切不明です。戦没年月日、所属部隊を知りたいと思いますが、どのような手続きをすればよいかお教えください。

お答えします。

厚生労働省社会・援護局業務課調査資料室宛に当会黒川誠会長名で戦没者調査について文書にて伺いました。以下、その回答です。

個人情報の開示請求手続きについて

当室では、旧海軍から引き継がれた人事記録等の資料を保管しておりますが、これらの保有個人情報は、プライバシー保護の観点から、ご遺族に対してのみ、身元を確認させていただいたうえで調査依頼に応じております。

つきましては、大変ご面倒ですが、別

個人情報開示請求書

(請求年月日) 平成 年 月 日

開示請求者	氏名			
	生年月日	(明・大・昭・平 年 月 日生)		
	住所	〒( - )		
	電話番号	( - - )		
	調査対象者との関係・続柄			
調査の対象者(事項)	氏名			
	生年月日	(明・大・昭 年 月 日生)		
	本籍地または出身地			
	履歴(わかる範囲で概要)	在籍区分	海軍省・横須賀・呉・佐世保・舞鶴	
		兵籍番号・電報符		
退職時の官職				
調査する事項	(例：軍歴について、戦没状況について等)			
使用の目的・方法(具体的に記入してください)	(例：記録保存のため、家系図の作成のため等)			
対象者の刑罰、病歴等に関する事項が記載されていた場合	開示希望 ・ 開示を希望しない			

添え「個人情報開示請求書」にご記入のうえ、下記の書類を添えて、ご送付下さいますようご案内します。

なお、必要書類を受領後調査できません

その結果、当室保管資料では確認できない場合もありますので、ご承知おき下さい。

【必要書類】

① 遺族(依頼者)の身元確認書類(氏名及び住所が記載されている運転免許証または健康保険証等)のコピー

② ご遺族関係が確認できる戸籍、戦没

本表はA4判を縮小しています。

年月日が確認できる戸籍（除籍）

③ 開示請求する日前30日以内に作成されたご遺族（依頼者）の住民票

※上記①～③の書類は、回答の祭にお返しします。

【送付先】〒100-8916

東京都千代田区霞が関1-2-2

厚生労働省社会・援護局業務調査資料室  
資料第四係

④ クエゼリンの鳥居と日本文字は？

編集部からクエゼリン慰霊碑前に立つ木製の鳥居と「日本人墓地」の文字は何方の作・筆になるものか、徳原徳子さん（篤志会員・ハワイ在住）に伺いました。

お答えします。

MI B F A の H P に掲載されている写真と記事のうち、クエゼリンの鳥居が「米軍が作ったといわれる……」と説明されているのを読んで、少なからずショックを受けました。米軍は墓地の場所、資材、機材の提供などの好意を見せましたが、労力までは提供していません。鳥居やフ

エンスなどは現地で購入していたカーペーターやペインター達が余暇にこつこつと作成したものです。その一人、稲福さん（ファーストネームは忘れしました）というペインターは亡夫と親しく、よくおしゃべりをしていました。稲福さんは日系一世で、日本語の読み書きが出来ました。彼らの無償の、無言の努力が誰にも知られず、永久に無視されてしまうのは忍びなく、お知らせする次第です。



鳥居の文字を書いた稲福さん（下の写真左から2番目）。右はトクハラさん（1968年11月）

## 現地慰霊巡拝のお知らせ 高林芳夫（担当幹事）

平成26年の現地慰霊は11月初旬を予定しています。慰霊巡拝の島は主碑のあるクエゼリン島及びブルオット島です。

昨年（平成24年）よりクエゼリン島への入国許可申請の方法が変わりました。平成20年までの入国許可申請手続きは当マリーシャル方面遺族会がクエゼリン指令部へ直接申請していました。

入国が許可されるとクエゼリン司令部より直接当マリーシャル方面遺族会へ入国許可が受理された旨の返事を戴いていました。時間もごく短時間のうちに申請手続き一切が済みました。

申請方法が変わったのは平成21年からです。世界各地でテロが多数発生しており、特に航空機搭乗時のチェックが厳しくなりました。テロ対策の一環として入国許可も正式な手続きを経て申請するようになり変わりました。

まず個人の申請書類一切を作成して厚労省へ申請します。厚労省で受理される

と書類は外務省へ送られます。外務省から外交ルートで米国政府へ、そこから先はよく判りませんがペンタゴン、クエゼリン司令部へと回るものと思われれます。入国許可が受理されるまで最短でも3ヵ月はおかるとの事です。

昨年の申請は初めての事でもあり書類を出して受理の返事を戴くまで6ヵ月以上かかりました。

現地慰霊を希望する方は平成25年10月末日までに本部までお申し込み下さい。

希望者が揃いましたら早めの申請手続きを進めたいと思います。申請書類は全員のものを一括して行いますのでその後の受付は行いません。

11月に行けるかどうかはつきり判らない方はとりあえず申請をして戴いて、受理された後でもキャンセルされても構いません(キャンセル料には決まりがありません)。

参考までに昨年平成24年11月の現地慰霊では期間7日間で費用は26万円でした。次回の見積りはまだ出ていません。現地慰霊について詳しく知りたい方は本部までお問い合わせ下さい

## 寄付者芳名

敬称略

北海道 伊藤義勝 岩手県 小杉サヨ  
 宮城県 佐藤勉 安藤としえ 山形県  
 丹野好啓 秋保十郎 福島県 遠藤貞顕  
 富田ミツ 鈴木ヨシエ 根本さとみ 古  
 市光男 茨城県 鈴木やよひ 神永栄子  
 北条晃 栃木県 菊池彦巨 猪瀬康夫  
 埼玉県 天野好子 小野博孝 富川艶子  
 鈴木裕子 小田原利子 近藤マスイ  
 高林芳夫 千葉県 廣原実 泉水堯恵  
 相川孝夫 宮崎県 東京都 高橋愛子  
 石川勲 黒川誠 高坂和靖 田中勲 毛  
 塚昌博 井上賀雄 山田二美 内海静枝  
 晝間志津子 間々田征史 番場信子  
 星野綾子 中村順子 草場寛 西田寿子  
 浜田つき子 山口裕子 神奈川県 石沢  
 洋子 佐藤登志 石渡綾子 岡野智津子  
 鈴木友季子 新潟県 山田輝雄 石丸進  
 熊沢静子 富山県 池田淑子 広島富子  
 石川県 林秀光 木村久子 山梨県 黒  
 川正文 長野県 中村純久 岐阜県 堀  
 尾洋平 吉田正明 静岡県 服部くにゑ  
 大畑幸夫 野崎昭二 愛知県 浜田芳枝

奈良県 奥田義弘 和歌山県 福井敬眞  
 鳥取県 井上照美 広島県 藤本正 浦  
 手清司 瀬戸隆子 奥井禮子 山口県  
 吉永峯生 香川県 富田佳代子 愛媛県  
 長岡俊夫 馬場清 渡部守 大塚喜久雄  
 高知県 橋本勝彦 徳弘萩子 野島鶴美  
 福岡県 平田郁子 吉松貞子 佐賀県  
 金子茂 長崎県 山下タエ 熊本県 土  
 田利子 植川二男 沖縄県 宮城勇 会  
 友 郡義典 兵頭義彦 山口正雄

## 訃報

●平成23年没  
 吉川芳蔵さん(栃木)  
 岡島みね子さん(愛知)  
 ●平成24年没  
 土井勢津さん(高知)・橋本昭彦さん(弟)  
 が継承  
 長谷土松さん(長崎)  
 森フサエさん(宮崎)  
 宇田川ひささん(埼玉)  
 ●平成25年没  
 栗林徳五郎さん(元顧問)  
 ●没年不明  
 塚野ヨシ子さん(熊本)

第51回マージナル方面遺族会慰霊祭

平成25年3月31日

於 靖国神社



撮影 ツカモト写真館 (靖国神社・九段会館指定)